

第1学年 第2時指導案【群馬の自然】

1.ねらい

白地図の作業や群馬県のシンボル（群馬県を紹介する際、代表となるもの）を考える作業を通して、群馬県の自然の概要を理解する。

2.準備

[教師] 副読本 地図帳 資料プリント ワークシート パソコン プロジェクター 画像データ

[生徒] 副読本 地図帳 自己評価カード

3.展開

生徒の学習活動	支援、指導上の留意点	時間
<p>群馬県の地形や気候に関する写真を見て、前時の復習（県内地域の多様性）をするとともに、本時の学習内容について知る。</p> <p>副読本掲載の断面図や景観写真を読み取ったり、説明を聞いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本白根山は標高約2000m、館林は約0mだ ・本白根山から館林までの距離は、約9.9km ・大間々扇状地は広いな <p>上毛カルタには、群馬県のどんな自然が詠まれているか考え、白地図に書き入れる。の活動を通して、県内には様々な地形があることに気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(あ)浅間山 (い)伊香保温泉 (く)草津温泉 (さ)三波石峡 冬桜 (す)赤城山 (せ)尾瀬 (た)片品溪谷 吹割滝 (と)利根川 (の)榛名山 (は)花山公園 (み)谷川岳 (も)妙義山 (や)吾妻峡 (よ)四万温泉 (ら)雷 空っ風</p> </div>	<p>前時に使った写真と同じものを使用し、前時の学習を想起させる。の活動に取り組みやすいよう、上毛カルタの詠まれた自然の画像も使用する。</p> <p>資料活用技能を身に付けさせるため、断面図の読み取りでは、標高や2点間の距離を確認する。景観写真の読み取りでは、どこからどの方向で撮影したものが確認する。</p> <p>景観写真にある、河岸段丘、扇状地については、深入りせず、川的作用によってできたこと、どんな形なのか程度の説明にとどめる。</p> <p>ワークシートの白地図に、学校所在地、居住市町村の位置、利根川や上毛三山、浅間山等、上毛カルタに詠まれている地形などを書き入れさせる。白地図は作業がしやすいよう、副読本と同縮尺のものを用意する。</p> <p>利根川は支流を含めて考えさせるため、「主な河川分布図」を提示し、簡単に説明をする。上毛三山は県内で完結していること、浅間山や尾瀬などは他県にもまたがること、利根川は流域面積が全国1位であることなど、シンボルを考えていく際の参考になるような簡単な補足説明（の資料プリントと同内容）をする。</p>	<p>5</p> <p>3</p> <p>5</p>
<p>上毛カルタに詠まれている自然の中で、群馬県のシンボルにふさわしいのは何だろうか</p>		
<p>上毛カルタの自然を詠んだ札の中から、群馬のシンボルには何がふさわしいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利根川～群馬県全体を流れているから 吾妻峡も吹割滝も利根川だから ・赤城山～前橋からも高崎からも見えるから ・空っ風～3Kに選ばれるほど、他県でも有名だから ・尾瀬～他県にもまたがるが、歌になっているから 	<p>群馬県のことを紹介するとしたら、という観点でシンボルを考えさせる。産業面も含めて考えさせる。考える参考となるよう、カルタに詠まれた地形等の写真と、簡単な説明を載せた資料プリントを配布する。</p> <p>まず、自分の意見（選んだ札と、選んだ理由）をプリントに書かせ、態度を表明させる。クラス全体の意見を確認し、その後、4人程度のグループを作り話し合いを行う。話し合った結果を、代表者が発表させる。意見を大いに褒め、多様性のよさを認めるとともに、学習への意欲を高める。選びやすいよう、話し合いがしやすいよう、札は予め7つ選んで提示する。</p> <p><u>【評価】群馬県のシンボルを考える。(ワークシート)《考》</u></p> <p><u>【評価】群馬県の自然の概要を理解する。(ワークシート)《知》</u></p>	
<p>本時の学習を終了した時点で「群馬県はどんなところ」を考えて書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上毛三山など、大きな山がたくさんある ・支流も合わせると、利根川が県中を流れている 	<p>主に自然の面から見た群馬県について書かせる。名詞の羅列にならないように助言をする。</p>	<p>5</p>

【資料】kob 1年(2) 群馬の自然

<p>浅間のいたずら 鬼の押し出し</p> <p>浅間山</p> <p>長野県との境にある活火山。標高2568m。今も白い煙をたなびかせている。最近では2004年に噴火した。鬼押し出しは、江戸時代の噴火の時の溶岩が冷えて固まったもの。</p>	<p>伊香保温泉 日本の名湯</p> <p>伊香保温泉</p> <p>旅館に湯を分ける小間口がある石段で有名。明治時代のリゾート地で、文化人に愛されてきた。</p>	<p>草津よいとこ 薬の温泉</p> <p>草津温泉</p> <p>自然に出る湯量と酸性度は日本一。湯の花をとる「湯畑」や、高温の湯の温度を下げる「湯もみ」は有名。県内で一番観光客が来る。</p>
<p>三波石と共に 名高い冬桜</p> <p>三波石 冬桜</p> <p>三波石は、三波川の黄緑色の地に白いもようが入った石。冬桜は、日露戦争に勝利の記念に公園が整備され、植えられた。国の天然記念物。</p>	<p>裾野は長し 赤城山</p> <p>赤城山</p> <p>上毛三山の一つ。長いすそ野が特徴的な活火山。南の山麓(さんろく)には、前橋市がある。</p>	<p>仙境尾瀬沼 花の原</p> <p>尾瀬</p> <p>新潟、福島、群馬の三県にまたがる。『夏の思い出』にも歌われた大きな湿原(しつげん)がある。</p>
<p>滝は吹割 片品渓谷</p> <p>吹割滝</p> <p>利根川支流の片品川が岩をけずってきた滝。国指定・天然記念物に指定されている。国の名滝100選にも選ばれた。</p>	<p>利根は板東一の川</p> <p>利根川</p> <p>日本1位の流域面積、日本2位の長さ322kmの川。みなかみ町の大水上山から、太平洋まで流れる。県内の川のほとんどはこの川の支流。</p>	<p>登る榛名の キャンプ村</p> <p>榛名山</p> <p>上毛三山。榛名湖を取り巻くように外輪山(がいりんさん)がそびえる。過去何度も噴火した活火山。</p>
<p>花山公園 つつじの名所</p> <p>花山公園 つつじ</p> <p>つつじが岡公園。20種1万本あまりのつつじが咲く。群馬県の花「レンゲツツジ」は、あまりない</p>	<p>水上、谷川 スキーと登山</p> <p>水上温泉 谷川岳</p> <p>水上川上流には、水上温泉や谷川温泉など多くの温泉がある。谷川岳は新潟県との境にある。群馬県側には急な崖(がけ)があり、遭難者が多く「魔の山」とよばれている。</p>	<p>紅葉に映える 妙義山</p> <p>妙義山</p> <p>上毛三山の一つ。古い時代の火山(死火山)。長い時代に雨や風でけずられ出できた変わった岩などがあり、日本三奇勝の一つでもある。</p>
<p>耶馬溪しのぐ 吾妻峡</p> <p>吾妻峡</p> <p>変わった形の岩や滝がある。紅葉や新緑がきれい。</p>	<p>世のちり洗う 四万温泉</p> <p>四万温泉</p> <p>昔からの湯治場(とうじば)として知られる。NHK『ファイト』の撮影も行われた。</p>	<p>雷と空風 義理人情</p> <p>雷 空っ風</p> <p>夏、多くの雷雨があるので有名。冬、関東平野に吹く乾燥した強い風が空っ風。群馬県で最も強く吹く。「赤城おろし」とも言われる。</p>

【注意！！】

この資料は授業で使ったものと異なります。
 (以下の点で異なります)
 説明の隣の欄に絵札を入れた
 G-takの群馬県内の水系図も掲載した
 A4用紙2枚

群馬県をながめてみよう (副読本 p 2)

本白根山の標高は?	前橋の標高は?	地図上の 1 cmは何km?	本白根山・館林間の距離
m	m	km	km

上毛カルタによまれた、群馬の自然
白地図に山や川を書き入れましょう (下の地図に)

山	:(あ)浅間山 (す)赤城山 (の)榛名山 (み)谷川岳 (も)妙義山
温泉	:(い)伊香保温泉 (く)草津温泉 (よ)四万温泉
川など	:(せ)尾瀬 (た)吹割滝(ふきわりのたき)(=片品溪谷) (と)利根川 (や)吾妻峡(溪谷)
花	:(さ)冬桜 (は)つつじ(花山公園)
その他	:(さ)三波石 (ら)雷 空っ風

波線のは、白地図への記入を
しません

(群馬県の白地図)

群馬県を代表する、シンボルとなる自然は何か？
上毛カルタの札の中から考えよう！

どの自然がふさわしいだろうか（個人の考え）

- A：赤城（あかぎ）山 B：榛名（はるな）山 C：妙義（みょうぎ）山
D：尾瀬（おぜ） E：利根（とね）川 F：空っ風（からっかぜ）
G：温泉 H：その他 []

選んだ理由

--

どの自然がふさわしいだろうか（グループの考え）

- A：赤城（あかぎ）山 B：榛名（はるな）山 C：妙義（みょうぎ）山
D：尾瀬（おぜ） E：利根（とね）川 F：空っ風（からっかぜ）
G：温泉 H：その他 []

選んだ理由

--

シンボルのイラストを描いてみよう！
（時間がある人）

--